

Weave our happiness.

ENISHIA

事業概要

医師の過酷な労働環境が社会問題化する中で、2024年に罰則を伴う医師の残業上限規制が導入されることが決まりました。

医師の長時間労働の最も大きな要因として挙げられているのが「医師事務作業」です。

私達はここに注目して、「カルテの要約」を自動提案するソフトウェアを開発しております。

提供サービス

SATOMI - 診療録要約作成支援ソフトウェア

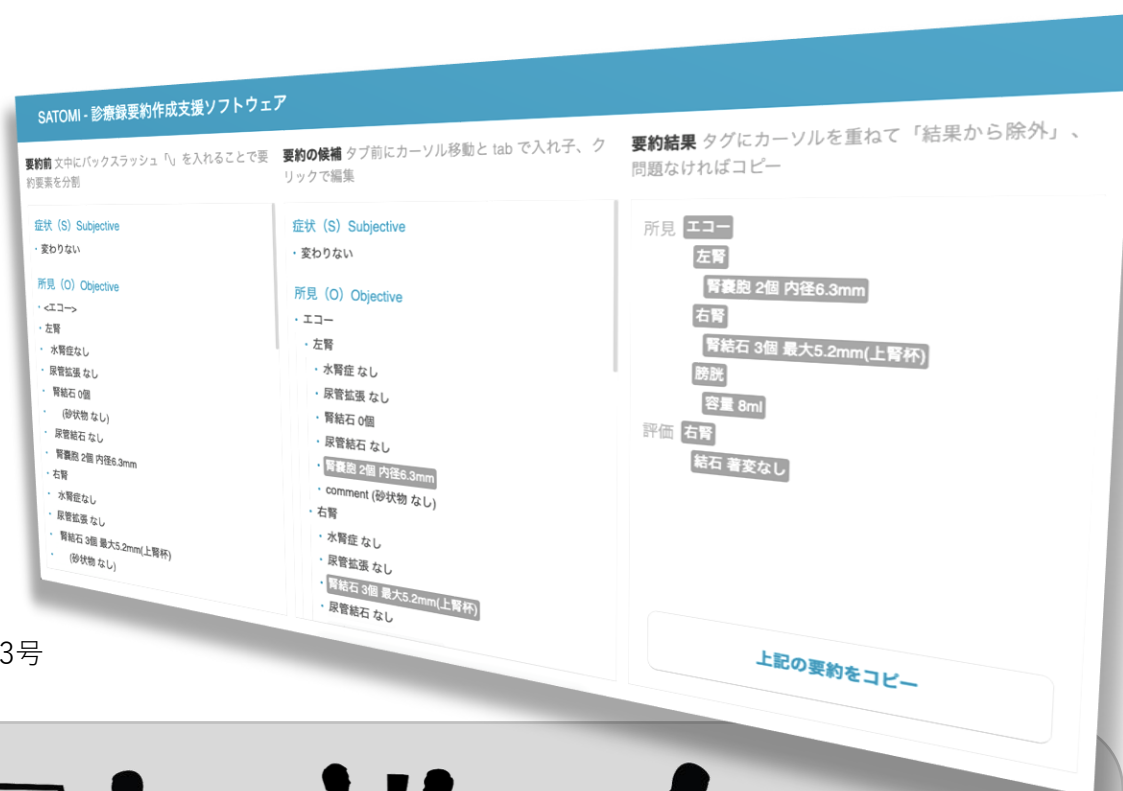
電子カルテにはすべての情報を記載しなければならない

↓
情報過多で読みにくい

電子カルテの要約※では重要な情報のみを参照できる

↓
一覽性に優れる

※特許 第6573093号



導入効果



診療効率の
向上



引き継ぎの
効率化

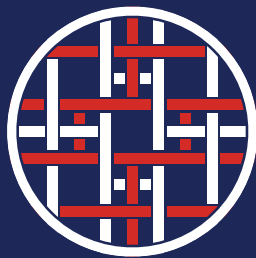


文書作成の
負担軽減

企業情報

名称 エニシア株式会社
代表 小東茂夫
所在地 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町4 6 - 2 9 京都大学医薬系総合研究棟
設立 2017年7月
ウェブサイト <https://enishia-inc.co.jp>





Weave our happiness.

ENISHIA

医療の「あたりまえ」をアップデートする

カルテの潜在的価値を引き出し、医療全体の仕組みを見直す

医療の現場で日々大量に入力されている電子カルテ。
でも、その情報は実はまだ十分に活用されているとはいえません。

カルテに記入された文章は、いわばデータの「原石」。
この原石をデータとして活かすためには、
「磨く」＝「必要な部分を取り出して要約する」ことが必要不可欠です。

現在、この作業を行っているのは医師の手。
手作業ゆえに、磨かれるデータは必要最小限に留まり、電子カルテという
情報の鉱脈には膨大な原石が放置されたまま。
医療の世界ではそれがあたりまえになっているのです。

もしこの作業が自動化されたら？

多忙を極める医師の負担を劇的に減らすことができる。
患者の経過を見通すことが容易になり、診療の質と効率を高めることができる。
薬の開発や治療方針のガイドライン策定に、膨大なデータを活用できる。

カルテ要約の自動化を通して医療全体の仕組みをアップデートする。

「SATOMI」から、そんな未来が見えてきます。